

しつこいほどに
併走します(笑)

「おせっかい」が
助かるんです



■ 実際には開業して自由に診療を提供できるようになり、どのように感じているのでしょうか？

■ お手本となさ活動されている先駆医師が少なく手探しの状態で活動しているため、どれだけのことができていのかはわかりません。それでも、自身の勤務時代と比較をすれば、開業の必要があると感じるようになりました。そして、自由にできる範囲を追究するためには、開業の必要があると考えなければなりません。

■ 患者を深く理解し共感できる理由

■ 内科を紹介されている症状を診るだけでは「病状化している症状を診るだけではなく、その根拠を考慮する」という意識を貫かす。目が見えなくなるような感覚を覚えた。とても強く私の琴線に触れまして、根本原因を細く掘ることにやりがいを感じようになりました。そして、自由にできる範囲を追究するためには、開業の必要があると考えなければなりません。

■ 症状に対して効果がなく、内視鏡検査でも異常が見えなければ、心療

■ 自らも病状化して原因を突き止められませ

■ なるならば、より患者さんに寄り添うことができています。

■ 例えは、10年以上にわたって困っていたお腹の症状が、このクリニックで薬療法に取

■ 腹の症状が、このクリニックで薬療法に取

■ り組んだことでスッキリ解消してきた患者さん

■ 強い部分の人間です。私自身もどちらかといえば胃腸

■ ちがうわかんないです。胃腸は薬の入口なので、単に「お腹調子が悪い」だけではな

■ く、どうしても全身に体調不良が出ますし、それによってメンタルが落ち込んでしまっ

■ ともあります。その患者さんとはとても喜んでくださいます。やはり印象に残っています

■ ね。

■ 宮本先生が注力している薬療法を求めようになり、どのように感じているのでしょうか？

■ 実際には開業して自由に診療を提供できる

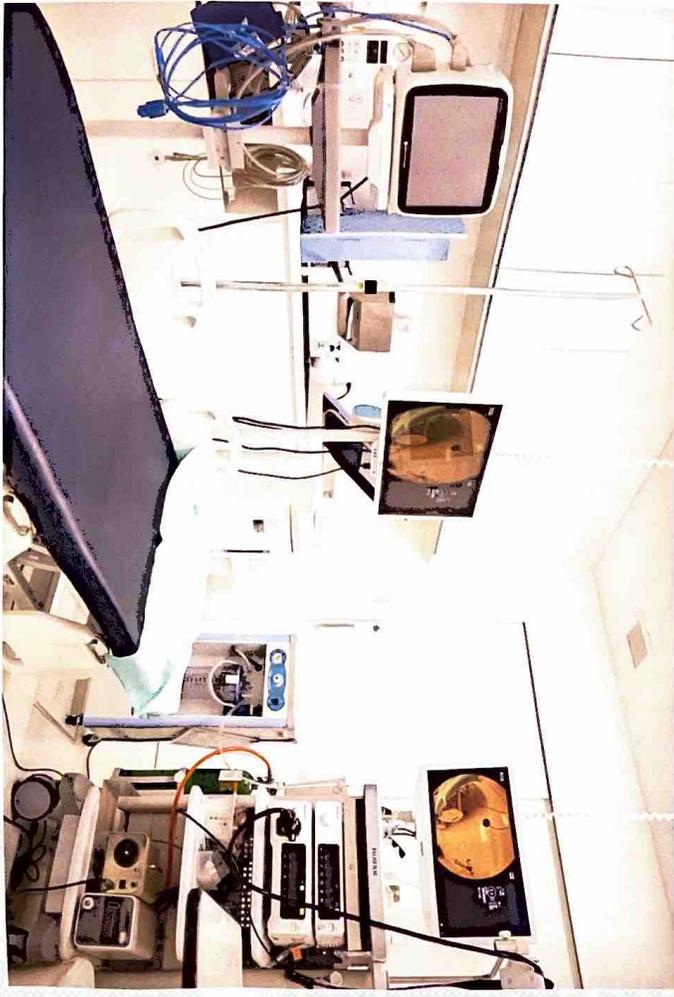
■ 患者を深く理解し共感できる理由

■ 内科を紹介されている症状を診るだけでは「病状化している症状を診るだけではなく、その根拠を考慮する」という意識を貫かす。目が見えなくなるような感覚を覚えた。とても強く私の琴線に触れまして、根本原因を細く掘ることにやりがいを感じようになりました。そして、自由にできる範囲を追究するためには、開業の必要があると考えなければなりません。

■ 症状に対して効果がなく、内視鏡検査でも異常が見えなければ、心療

■ 自らも病状化して原因を突き止められませ

▼内視鏡室。多い時は胃カメラ、大腸カメラで1日6〜7人も検査されるという



「患者さんと同じ立場だから、強く共感できるんですよね」

音拓隆
 ながま ● 税理士法人「アソシアパートナーズ」代表社員。税理士。1973年生まれ。金沢市車馬所での勤務を経て、2003年に開業。2005年、税理士法人へ移行。



■ 岡田さんです。

■ なぜ奥様の地元である熊本ではなく、福岡だったのでしょうか？

■ 妻は学生時代を福岡で過ごしてしま

■ て熊本よりも福岡の方が子育てしやすいと

■ 考えていたからです。まずは、試験的に私が

■ 東京で働いたまま妻と子供だけだけ福岡

■ に任んでみることにしました。そして、私は

■ 家族に会うために頻りに福岡に帰るようにな

■ りました。

■ 以前より字会で福岡を訪れるたびに「福岡

■ は楽しい街だな」と感じていたのですが、き

■ らに「生活するにも兼ね兼ね街だな」と私も考

■ えるようになり、お世話になっていた教授が

■ 退任されるタイミングで、私も東京を離れて

■ 福岡で働いてみようかと決断しました。それが

■ 2015年のことです。

■ 実際に福岡の住み心地は抜群で、福岡で生

■ 涯を過ごす決意が固まりました。そして、

■ 2020年に開業して現在に至ります。

■ 2015年に福岡で働きはじめた病院に

■ は何か縁があったのでしょうか？

■ 妻の内視鏡の師匠である元上司が福岡大学出

■ 身であったため、福西会病院にお世話になり

■ ました。

■ 内視鏡では見つからない

■ 「根本原因」を追究する

■ ご自身が開業された経緯をお聞かせいた

■ だけますか？

■ 妻 2017年に偶然書店で、分子栄養医

■ 学（オトモレキョウ「医学」の書籍を手

■ 取り、薬療法という医療があることを知り

■ ました。病気の根本原因にアプローチ

■ する考えを自身の診療に取り入れたと考

■ えたことが開業を決断した最も大きな理由で

■ す。

■ 内視鏡をメインに考えていたわけではな

■ いですね。

■ 妻ももともと根本的な原因にアプローチした医

■ 療に取り組みたいと思っただけです。

■ 内視鏡検査を受ける患者さんのほとんど

■ は、お腹の不調を訴えます。内視鏡検査で異常

■ が見つからないケースもありますが、もち

■ ろん検査をしているだけでその患者さん

■ の不調は改善されませんよね。薬療法を

■ 学んでいくと、そのような患者さんの不調の

■ 原因をもう少し詳しく理解できるんです。

■ ただ残念ながら勤務医という立場では

■ 消化器内科で内視鏡を担当する「ドクター

■ といふクリニック」から抜け出すことは、どう

■ しても難し。もともと患者さんや食事や栄養

■ についても勉強したいという気持ちで

■ いたので、いろいろと勉強するようになりました。

■ 具体的な症例があればご紹介いただけま

■ すか？

■ 妻 例えれば痩せ型の女性に多く見られるので

■ すが、鉄欠乏の影響であったり、低血糖を起

■ こしていたりするために、胃腸が正常に動か

■ ず調子が悪いことがあります。また腸が悪

■ く欠乏により腸管が弱くなることもあ

■ りますが、当然ながら胃腸を弱くしても改善し

■ ません。

■ これらはいずれも内視鏡検査でも見

